

各試験方法・試験結果

■ 衝撃吸収性試験

床材	全厚	最大加速度 G値			m/s ²
		吸収しやすい S 100G以下	← A → 100超~115G以下	吸収しにくい B 115G超~130G以下	
CFシート-SD	3.5mm	94			921
CFシート-H	1.8mm		117		1147
CFシート-P NW	2.3mm		108		1058
複合フローリング	12mm		111		1088

【試験方法】

加速度計を取付けた頭部モデル(3.85kg)を所定の高さ(20±1cm)から床面に落下させ、衝突時の加速度を測定します。

■ 耐薬品性試験

各種床材上に脱脂綿を置き、1mlの薬品を滴下し、時計皿をかぶせて24時間放置し、水洗・乾燥後の汚染状態を3段階で立位から目視評価します。

【評価基準】

- A: 変化なし
- B: わずかに変化する
- C: 変化する

■ 耐ヒールマーク試験

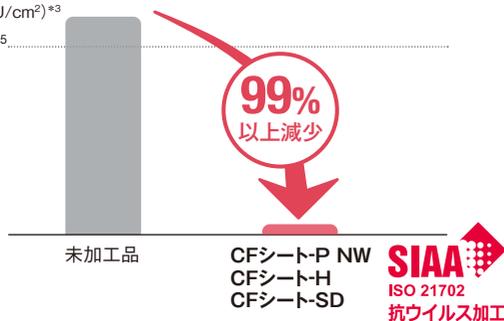
ゴム塊を入れた回転試験機30分回転後の試験体の汚れ状況を評価後、水拭き後の状況を評価します。

■ 抗ウイルス性試験

製品上の特定ウイルスの数を99%以上減少!

【ウイルスA*1(エンベロップあり*2)】

ウイルスの数
(PFU/cm²)*3
10⁵



SIAAの安全性基準に適合しています。

- 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- SIAAマークは、ISO21702法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

*1 薬機法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律)によりウイルス名が表記できないため、「ウイルスA」と記載しています。

■ 発音低減性試験

床材	改善度(dB)		
	発音しやすい C 4~7dB	← B → 7~15dB	発音しにくい A 15dB以上
CFシート-SD			22.2
CFシート-H		14.9	
CFシート-P NW		10.6	

【評価基準】

A: 発音の大きさを半分以下に感じる C: 発音が低減したと感じる限界
B: はっきり発音が小さくなったと感じる

【試験方法】

標準軽量衝撃源(タッピングマシン)を用いた手動単音衝撃での1000Hzにおける騒音レベルを測定し、コンクリートスラブと比較した時の改善度(dB)で評価します。

■ 消臭試験

消臭試験専用のビニル袋に試験体を入れて密封し、悪臭成分を添加して、経過時間後の袋内の残留ガス濃度をガス検知管にて測定します。

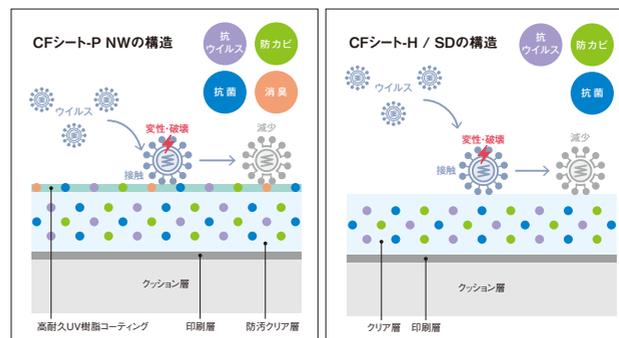
■ 滑り性試験(C.S.R・D'値)

試験サンプルの上のおもりを引っ張った際の初動までにかかる引っ張り過重の最大値から、ペット(犬)の滑りを表す物理量C.S.R・D'値を算出します。

*各品番の数値は営業所にお問い合わせください。

■ ホフマンスクラッチ試験

試験対象の表面に対して45°の角度で接するようにスクラッチ刃(φ7mmの円柱形の刃)をセットし、所定の荷重をかけて試験機を移動させ、傷やへこみを評価します。



*2 ウイルス粒子に見られる膜状の構造です。エンベロップがない場合は、エンベロップ有りの場合と比較してアルコール等の消毒液耐性が強いといわれています。

*3 PFU (Plaque-forming unit) プラーク法により測定したウイルス数の指標です。

試験機関: 一般財団法人日本繊維製品品質技術センター

試験方法: ISO21702 法